

このたびは、YKK AP の交換用部品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

はじめにお読みください

本書は、部品の交換、調整に関する必要事項を説明しています。
部品を正しく安全に交換、調整していただくために、本書の内容をよくご理解いただき作業を行ってください。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
部品の交換、調整については、お客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品の交換、調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
部品の交換、調整手順が不明な場合は、当社 Parts SHOP までお問い合わせください。☎ 0120-72-3482

本書内の表記

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。
内容を十分ご理解のうえ、指示を守って部品の交換、調整を行ってください。

警告 / 注意 / お願い

表 記	意 味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味	表 記	意 味
	作業するうえで必要な情報		知っておくと便利な情報

- ・本要領書は説明するうえで、ドアが開く側を室外側、閉じる側を室内側と呼びます。
- ・本要領書は、V タイプハンドル、室内側サムターン付で説明しています。

安全に作業を行うために

注意

ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。
ドアが急に閉まって指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
作業を行う際は、軍手などの保護具を着用してください。
素手で作業を行うと、加工穴や部品の端部で指を切るなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

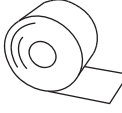
交換、調整する際は、電動工具を使用しないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
部品取り付け用のねじは、正しく最後までしめつけてください。
取りはずしや仮置きの際、キズをつけないよう床や部品をダンボール等で養生してください。

同梱されているもの

ハンドル(内外セット)	部品交換要領書
  室内側ハンドル: 1個 室外側ハンドル(角芯付): 1個 室内側丸座: 1個 室外側丸座: 1個 Vタイプ: HH-N-0071V IEタイプ: HH-N-0071E1	 本書 1 枚

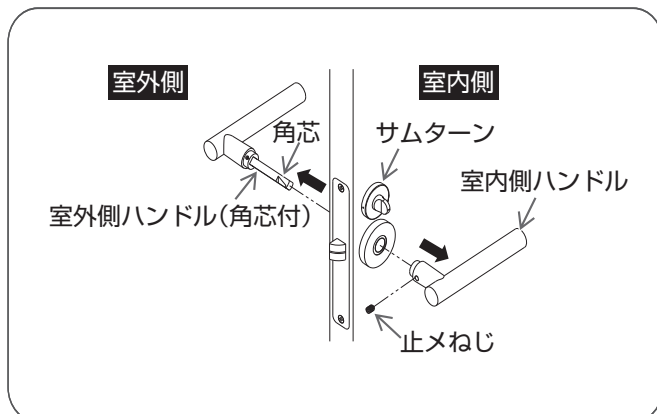
・部品が全てそろっていることを確認してください。

使用する工具

プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど
  1 本	  1 本	

部品の取りはずし方

1 ハンドルの取りはずし

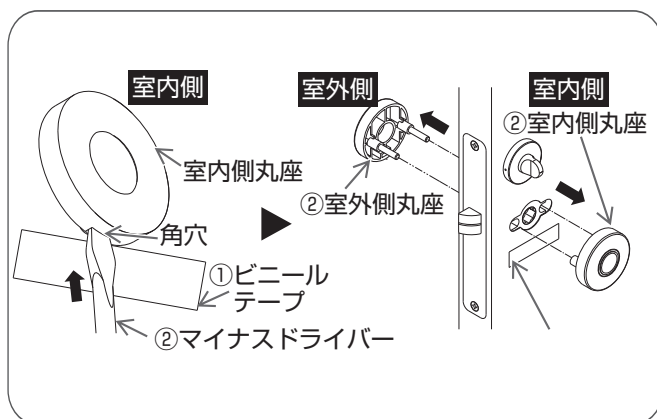


- ①室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、室内側ハンドルおよび室外側ハンドル(角芯付)をはずす。



・室内側ハンドルをはずすと、室外側ハンドル(角芯付)がはずれます。落下にご注意ください。

2 ハンドル丸座・丸座ベースの取りはずし



- ①室内側ドア表面にキズがつかないように室内側丸座下部にビニールテープなどを貼って保護する。

- ②室内側丸座の角穴にマイナスドライバーを差し込み、室内側丸座および室外側丸座をはずす。



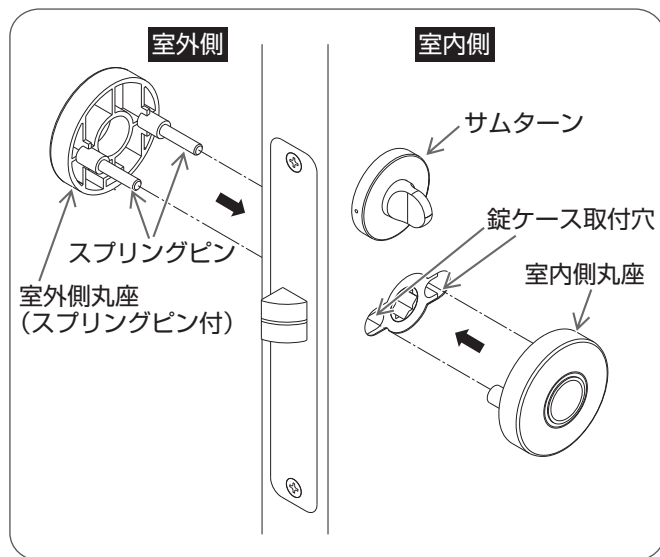
・室内側丸座をはずすと室外側丸座がはずれます。落下にご注意ください。

- ③ビニールテープなどををはがす。

※部品の取り付け方は 3 ページをご覧ください。

部品の取り付け方

1 ハンドル丸座の取り付け

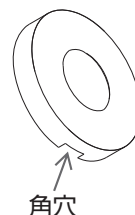


- ① 室外側から室外側丸座(スプリングピン付)を錠ケース取付穴に差し込み、室内側から室外側丸座のスプリングピンに合わせて室内側丸座を差し込む。

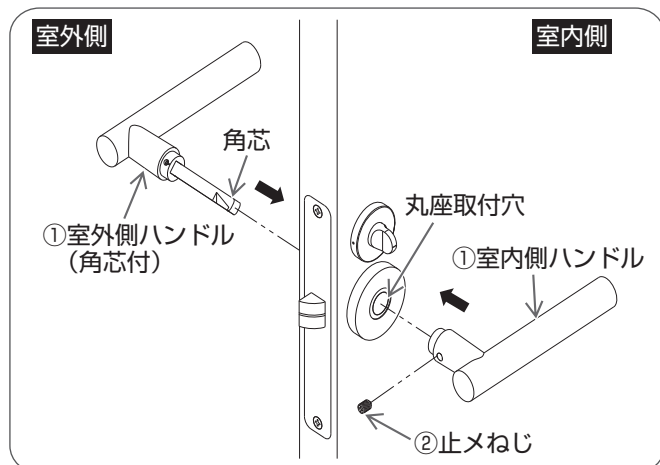


・ 室外側丸座および室内側丸座は差し込み際、角穴を下側にして差し込んでください。(下図参照)

・ 差し込み後、室内外の丸座とドア表面に隙間がないことを確認してください。



2 ハンドルの取り付け



- ① 室外側から室外側ハンドル(角芯付)を丸座の取付穴に差し込み、室内側から室外側ハンドルの角芯に合わせて室内側ハンドルを差し込む。

- ② プラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをしめる。

※部品の取りはずし方は 2 ページをご覧ください。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎでドアが変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを操作してドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ シリンダー付の場合、シリンダーに全てのカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターン付の場合、サムターンツマミを操作して、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。